

心の教育センターのワンストップ＆トータルの対応

ワンストップ＆トータル

- ①いじめ・不登校・非行等の相談・支援などに対応
- ②専門性を備えたスタッフによる様々な事例への対応
- ③関係機関との連携
- ④相談者や学校に丁寧な支援を行い、解決まで寄り添いを継続

子ども・保護者



高知県心の教育センター

1. 相談受理

◇SC、チーフ・指導主事、相談員が相談を受け内容を整理

2. 相談内容の共有と情報収集

必要に応じて学校への問い合わせを行う。

◇所長、チーフ、SC・SSW、指導主事、教育相談員で相談者から聞き取った情報を共有

3. 事象の見立て

◇SC・SSWが中心となり、ケースを見立て

4. 支援策の協議

◇見立てと相談者の情報に基づき、支援策を全員で決定し、SC・SSWを中心に支援計画を立案
◇必要があれば関係機関との連携を決定

5. 担当者の決定

◇相談者を解決まで支援する担当者を決定
◇地教委・学校にも解決まで関わることを連絡

6. トータルな支援

◇担当者は、関係機関訪問の際には原則同行
◇学校の校内支援会に出席するなど、トータルな支援の実施
◇ニーズがあれば発達検査を実施

児童相談所

医療機関

少年サポートセンター

地方法務局

弁護士会

子どもを対象とした民間も含む相談機関他

情報共有・専門的侧面からの支援

連携

相談支援体制の充実

(13名⇒17名体制へ)

所長1名、チーフ1名、指導主事5名、相談員4名

SC(スーパーバイザー2名)・SC(チーフ1名)

SSW(チーフ1名)・SSW(1名)

相談員(警察OB等1名)

拡充

学校(国・公・私立)

相談支援

- ・いじめの場合の実態調査、詳細の把握
- ・情報の集約と共有
- ・被害児生徒の状況把握とケア
- ・加害児生徒への指導と事後支援

専門的な指導助言

★学校・市町村配置のSC、SSWの支援

★校内支援会への参加による支援

※市町村立学校へは、市町村教育委員会を経由し、助言・支援する

- 深刻ないじめ・不登校・非行等に対してSC・SSW・指導主事のチームを派遣
- 命に関わる事象に対してSC・指導主事のチームを派遣